

第86回大河津分水殉職者慰霊式

1. イベント概要

参加者：およそ30名（今年度は新型コロナ対策として参加人数を縮小し開催）



会場となった大河津分水工事殉職之碑。裏面には殉職された100名の方々の名前が刻まれています。

2. イベント状況



大河津分水建設の歴史と恩恵について描いた動画「あの山を拓く」を慰霊式に先立ち上映しました。令和3年3月に完成したばかりの動画で、この慰霊式がお披露目の機会となりました。



第86回となる大河津分水殉職者慰霊式の開催にあたり参列者全員で黙とうし、先人達に敬弔の意を捧げました。続いて、主催者を代表し「大河津分水の機能をしっかり発揮できるように引き続き励んでいきたい」と大河津出張所長が式辞を述べました。



国会議員や信濃川沿川の市長など多くの来賓の方々がお越しくだしました。「令和の大改修の早期完成に向けて共に頑張りたい」
「令和4年の大河津分水通水100周年に向けて盛り上げていきたい」などの挨拶をいただきました。(写真は燕市長)



来賓の皆さんの挨拶に続き、大河津分水工事殉職之碑に向かい参列者一人一人が献花を行いました。また、献花のために駆けつけてくださった地域の方々もいらっしゃいました。



慰霊式の控室となった大河津出張所1階会議室には令和の大改修のパネルや大河津分水通水100周年フラッグも一緒に掲示しました。パネルはしばらくの間、信濃川大河津資料館にも掲示していますのでご覧になってください。



献花に来られた地域の方々には「先人達の苦勞があり、大河津分水があるから我々の暮らしがある。令和元年の洪水の時には大河津分水のありがたさを再認識した。大河津分水通水100周年に向けて地域としても盛り上げていきたいと思う。」などとお話されていた。